

水道事業会計

営業

令和2年度の水道事業では、年間有収水量858万4180³m³（前年度比4.33%増）を各家庭や企業に給水し、料金収入は、16億8699万1千円でした。

最大配水日は1月11日で、1日あたり2万8051³m³（前年度比8.66%増）を配水しました。

建設改良

水道管の老朽化に伴う事故などを防止するため、平野台四丁目地内配水管改良工事や山田一丁目地内配水管整備工事などを行いました。将来的な維持管理や更新費用を削減し、水道事業の効率化を図るため、新設統合配水池基本設計業務や新設統合配水池送水管等詳細設計業務などを行いました。

業務量

事項	令和元年度	令和2年度	増減率
給水人口	9万9317人	9万9959人	0.65%
給水戸数	4万3730戸	4万4522戸	1.81%
人口普及率	98.41%	98.51%	-
年間総給水量	853万7926 ³ m ³	888万474 ³ m ³	4.01%
1人1日あたり給水量	234.9 ³ ℓ	243.4 ³ ℓ	3.62%
年間有収水量	822万7535 ³ m ³	858万4180 ³ m ³	4.33%
1日最大配水量	2万5815 ³ m ³ (12月15日)	2万8051 ³ m ³ (1月11日)	8.66%
料金収入	16億2540万9千円	16億8699万1千円	3.79%

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A - B)
収益的収支	21億8829万9千円	18億8954万5千円	2億9875万4千円
資本的収支	705万7千円	7億1541万8千円	▲7億836万1千円

◇収益的収支とは、経営活動に伴い発生した当年度の水道・下水道事業の収支のことです。また、資本的収支とは、将来の経営活動に備えて行う建設改良事業などの収支を表しています。

◇収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みの表示です。

◇資本的収支の不足分は、減価償却費などを賄う給水収益による現金（損益勘定留保資金）などで補てんしました。

◇損益計算書や貸借対照表などの財務諸表は、市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ先 企業総務課 ☎(580)1933

下水道事業会計

営業

令和2年度の下水道事業では、938万2772³m³（前年度比3.50%増）の下水道使用により、使用料収入は15億302万3千円でした。

令和2年度末の整備済面積は1467ヘクタール（ha）となり（計画面積1532haに対して95.8%）、また人口普及率は99.9%に達しています。

建設改良

汚水施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、牛頸西処理分区人孔蓋改築工事や牛頸西処理分区他汚水管渠改築工事などを行いました。都市型災害による浸水対策のため、筒井排水区フラップゲート設置工事などを行いました。

業務量

事項	令和元年度	令和2年度	増減率
整備済面積	1466ha	1467ha	0.07%
水洗化済人口	10万619人	10万1190人	0.57%
水洗化戸数	4万4232戸	4万5024戸	1.79%
人口普及率	99.9%	99.9%	-
年間有収水量	906万5365 ³ m ³	938万2772 ³ m ³	3.50%
料金収入	14億7113万8千円	15億302万3千円	2.17%

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A - B)
収益的収支	20億9201万5千円	18億8586万2千円	2億615万3千円
資本的収支	6億5191万6千円	14億2497万6千円	▲7億7306万円